

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【公開番号】特開 2001-160431 (P2001-160431A)
 【公開日】平成 13 年 6 月 12 日 (2001.6.12)
 【出願番号】特願 2000-127117 (P2000-127117)
 【国際特許分類】

H 0 1 R 4/48 (2006.01)
H 0 1 H 9/02 (2006.01)
H 0 1 H 13/04 (2006.01)
H 0 1 R 9/00 (2006.01)
H 0 1 R 9/24 (2006.01)
H 0 1 R 33/76 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 4/48 A
 H 0 1 H 9/02 B
 H 0 1 H 13/04 A
 H 0 1 R 9/00 A
 H 0 1 R 9/24
 H 0 1 R 33/76

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 2 月 17 日 (2006.2.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 機器の接続端子に配線を接続する端子台ソケットであって、機器に連結される端子台を備え、該端子台の一端側に配線が挿入される配線挿入孔を備え、端子台の内部には接続端子と配線とを導通接続する接続金具を備え、前記接続金具は、前記接続端子に対する端子接触部と、配線挿入孔から挿入された配線の芯線に対する配線接触部をそれぞれ備え、前記端子台には、挿入された配線を前記配線接触部に圧接する板バネからなる弾性挟持片が組み込まれ、

前記配線の挿入方向に沿って押し込み操作されることによって、前記弾性挟持片を押圧変形させて挟持解除方向に弾性変位させる解除ボタンを備え、この解除ボタンと前記配線挿入孔とは、前記弾性挟持片の板幅方向に並列して配置されるとともに、該弾性挟持片の板幅方向の一方側が、前記解除ボタンで押圧され、他方側が、挿入された配線を前記配線接触部に圧接することを特徴とする端子台ソケット。

【請求項 2】 前記端子台の他端側に機器から突設した前記接続端子を挿入する端子挿入孔を備え、この端子挿入孔から挿入された接続端子が前記接続金具の端子接触部に圧接される請求項 1 記載の端子台ソケット。

【請求項 3】 前記弾性挟持片を屈曲した板バネの一边側で構成するとともに、板バネの他辺側を、挿入された前記接続端子を端子接触部に圧接する弾性挟持片とする請求項 2 記載の端子台ソケット。

【請求項 4】 前記端子台を、弾性挟持片の板幅方向に並列連結した複数の端子台ブロックで構成してある請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の端子台ソケット。

【請求項 5】 前記接続金具に短絡用接触部を連設するとともに、この短絡用接触部

に対向する開口を端子台ブロックに形成し、複数の端子台ブロックに亘って装着したコンタクト片を複数の接続金具の短絡用接触部に接触導通させて、複数の接続端子を短絡導通させる請求項 4 記載の端子台ソケット。

【請求項 6】 前記解除ボタンを、機器の接続端子の種類に応じて識別できるように構成した請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の端子台ソケット。

【請求項 7】 前記端子台の外側にソケット取付け金具を装着し、ソケット取付け金具には、連結された前記機器の外側面に形成した係合部に弾性係合する係合アームを備えるとともに、この係合アームから係合解除レバーを操作可能に連設してある請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の端子台ソケット。

【請求項 8】 前記端子台に、前記弾性挟持片あるいは接続金具に臨むテストピン挿入孔を形成してある請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の端子台ソケット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

すなわち、本発明は、機器の接続端子に配線を接続する端子台ソケットであって、機器に連結される端子台を備え、該端子台の一端側に配線が挿入される配線挿入孔を備え、端子台の内部には接続端子と配線とを導通接続する接続金具を備え、前記接続金具は、前記接続端子に対する端子接触部と、配線挿入孔から挿入された配線の芯線に対する配線接触部をそれぞれ備え、前記端子台には、挿入された配線を前記配線接触部に圧接する板バネからなる弾性挟持片が組み込まれ、前記配線の挿入方向に沿って押し込み操作されることによって、前記弾性挟持片を押圧変形させて挟持解除方向に弾性変位させる解除ボタンを備え、この解除ボタンと前記配線挿通孔とは、前記弾性挟持片の板幅方向に並列して配置されるとともに、該弾性挟持片の板幅方向の一方側が、前記解除ボタンで押圧され、他方側が、挿入された配線を前記配線接触部に圧接するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によると、解除ボタンを配線の挿入方向に沿って押し込み操作して弾性挟持片を弾性変形させることで、接続金具の配線接触部と弾性挟持片との間隔を拡げ、ここに配線挿入孔から挿入した配線を差し入れ、その後、解除ボタンの操作を解くことで弾性挟持片が弾性復元し、配線接触部と弾性挟持片の先端との間で配線が強く挟持される。この場合、解除ボタンと配線挿入孔とは弾性挟持片の板幅方向に配置されているので、解除ボタンは挿入される配線の邪魔になることなく弾性挟持片の遊端側に作用させることができ、弾性挟持片の弾性力が大きくても、小さいボタン操作力で弾性挟持片を変形させることができる。しかも、弾性挟持片の板幅内で配線の挿入挟持と弾性挟持片の変形操作を行うことができるために、配線挟持接続箇所コンパクト化を図ることができ、配線挟持接続箇所を複数備える場合にソケット全体を小型化できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】